

保育セミナー2010 in 静岡

テーマ：「子どもの視点」から学ぶこと

7月18日(日)・19日(月祝)



1日目
7/18(日)

この日は丸一日全体会。とても濃い内容でした。

全体会1「子どもの育ちと遊び」高山静子さん



私が柿田です。



中、隣の人とペアになって、「この場合、どんなおもちゃを与えたら良いか」といった質問について一緒に考えたりしました。



「遊びの専門家になろう」をテーマに、遊びの意味・発達、おもちゃの選び方などをわかりやすくお話して下さいました。途中で、隣のひととペアになって、「この場合、どんなおもちゃを与えたら良いか」といった質問について一緒に考えたりしました。



「おもいでのアルバム」と題して、川和保育園の子どもたちの美しいスナップ写真が展示されました(富士ホールにて)。

2「子どもの『困った行動』への対応」中島澄枝さん



もと保育士の中島さんが、大人から見ると「困った！」と思う子どもの行為を意味のあるものにとらえ、対処法ではなく、感覚統合の理論や先人の知恵など持ち出して、実践的に話されました。

3「やりたい気持ちを育て、想像力をふくらませる保育」としくらえみさん



日本でもドイツでも幼稚園の先生を体験しているとしくらはさんが、色で遊びながら、だんだん形になって、結果的に絵になっていくことなどを話されました。



全体会は、メイン会場の「富士ホール」で行いました。会場の後ろには、販売コーナー、役割遊びの展示コーナーも設けました。

恒例♪お楽しみタイム♪

「Kuroのスーパージャグリングステージ」 ジャグリングパフォーマンス Kuro さん



「積み木おじさんの積み木ショー」 相沢康夫



足長レグでさっそうと登場したKuroさん。ダイナミックな技と、絶妙のトークで会場を沸かせました。毎年恒例の積み木ショーでは、相沢に引っ張り出されてKuroさんも飛び入り。お得意の「ハニカム」もビッグサイズゆえ手こずりましたが、見事にキメてくれました。



手を離れたら倒れる、と思う人?



鋭くボケをかました「赤シャツ」大西園長



A 室内遊び

大西宏幸さん、志賀口大輔さん、浅香聡彦さん



「役割遊び」のDVDを見ながら、3つの園での取り組みや苦労話などをお聞きしました。遊べる環境、遊びの基になる豊かな体験、そして保育者の支援がかみ合うことで、遊びが発展していくことがよくわかりました。

「役割遊び」のDVDを見ながら、3つの園での取り組みや苦労話などをお聞きしました。

コメンテーターの高山先生と進行役の柿田

C にじみ絵

としくらえみさん



最初に各自1枚自由に描いた後、としくらえみさんが「きれいに描くのではなく、思うがままに描けばいい」「汚くなくてもいいんです」との言葉に勇気づけられました。

E 外遊び

寺田信太郎さん



園長の熱のこもったトークが始まりました。子どもたちの外遊びのビデオ映像は、圧倒的な躍動感と迫力で、参加者は目が釘付けになってしまいました。

G 手仕事

としくらえみさん



★はみだしスナップ★



メイン会場後方では、役割遊び(ごっこ遊び)の環境をモデル展示しました。新商品も(→)。



B 幼児の運動遊び

中島澄枝さん



この日は午前と午後の2回、分科会を開催しました。

分科会☆午前の部

お話を聞きながら、わらわらたて遊んだり、体を動かして、運動の大切さを実感しました。子どもたちにも楽しく運動遊びをさせるヒントが一杯でした。

2日目
7/19(月)

D 楽しい絵本とお話

清水千秋さん



清水さんは、所属する東京子ども図書館の紹介(ご希望の方に資料差し上げます)

のあと、絵本やお話の基本について解説。「大事なのは選書」ということで、実演を交えながら、お薦めの絵本やお話、昔話などを紹介して下さいました。

分科会☆午後の部

F 乳児の運動遊び

中島澄枝さん



「昔に比べて、親子、子ども同士の身体に触れ合いが少なくなっている」「どう触れるかによって相手に伝わる感じが違う」というお話を交えながら、乳児期から、体に触れたり動かしたりする遊びや、体調のパロメーターになるおなかへのタッチ、などを実際にやってみました。

H バルーンアート

KURO さん



最初はおっかなびっくりだった皆さんも、終わる頃には慣れた手つきでバルーンを操っていました。最後は共同作業で大きな虹のアーチを作りました!



セミナー終了後、ロビーで著書にサインをして下さるとしくらさん。



司会を担当した山崎です。皆さん、ありがとうございました。